

数字で学ぶ
男女共同参画教室

79件

(平成28年度鹿児島労働局へのセクハラ相談件数)

この数字は、鹿児島労働局へ平成28年度に寄せられたセクシュアル・ハラスメント(セクハラ)に関する相談件数です。身体的な嫌がらせや言葉による精神的な被害、上司の誘いを断ると業務で無視されるなど、さまざまな相談が寄せられています。同年度に県が行った女性活躍推進に関する企業実態調査によると、セクハラ等への対策・環境整備に関して取り組んでいる企業が51.0%、今後取り組む予定の企業が30.1%という結果が出ており、セクハラ防止策に取り組む企業が増えてきていることが分かります。

セクハラは、働く人の個人としての尊厳を傷つけるとともに、能力の十分な発揮を妨げてしまうものです。働きやすい職場環境をつくるためには、性別や雇用形態にかかわらず、すべての労働者が互いを尊重し合うことが大切です。

コンカツ
INFO
vol.23

通年開催している枕崎コンカツスタンプラリー。縁結びスポット(南方神社、妙見神社)に行くと、枕崎鰹大トロ丼などのコンカツグルメを食べ、コンカツ商品を購入して、スタンプを3つ集めて地場産業振興センター(くじ引きスポット)で運試し。大吉が出ると商品引換券1万円分が当たるほか、中吉でコンカツ商品、小吉でかつお節パックと空くじなしとなっています。



コンカツスタンプラリーパンフレット

また、友達や恋人とぜひ一緒に参加してください。素敵なご縁に恵まれるかも……。

問合せ コンカツプロジェクト協議会事務局(水産商工課内) TEL72-1111・内線421

大吉が出たら商品引換券1万円分!
枕崎コンカツスタンプラリー 通年開催中

地域おこし協力隊
活動レポート

協力隊
が行く!

枕崎市地域おこし協力隊の前永です!
第2回目は今年度、新しく地域おこし協力隊として枕崎に来た幸田隊員とともに、別府地区でお茶農家をされている近森さんにインタビューしてきました!



近森さんは、神奈川県横浜市の出身で大学を卒業後は農業機械メーカーに就職し、32歳の時に東南アジアのラオスで青年海外協力隊(農業アドバイザー)として活動していました。帰国後、栃木県のたい肥工場に勤務した後、平成19年から奥さんにゆかりのあった枕崎でお茶を栽培しています。また、異業種交流会「結の会」(昨年度解散の会長や市通り会連合会の会員としても地域活動に積極的に参加しています)。

枕崎に来てよかったと思えることは何ですか?
農業を生業として生活していきたくて思っていたので、枕崎に来て実現できたのはよかったです。枕崎は新天地だったのですが、地域の人たちは「よく帰ってきたね」と家族のように迎え入れてくれて、枕崎の人々の温かさを感じました。あと、大学時代に自転車が好きで、自転車に TENT を積んで各地を回っているときに一次産業の方々に関わる機会があり、そんな人々の生活に触れる中で彼らのかつこよさを感じ、そういう環境で生きていきたい、自然に近いところで生活したいという憧れもあつたので実現できてよかったです。

枕崎の魅力は何ですか?
人材が非常に豊かだと感じます。

仕事をとお茶づくりの仲間ができ、そこから市水産商工課を通じて異業種交流会「結の会」にも参加し、いろんな業種の方と出会いました。多種多様ないろんな技術を持った人々がいるので、何かしようと思えば協力して実現できる環境だと思いました。一次産業、二次産業、三次産業のバランスも良いと思います。枕崎自体がコンパクトな町なので、人同士の距離が近いのも魅力のひとつだと思います。

枕崎に「これがあれば!」と思うものはありますか?
せつかくいような団体や人材がいるのに横のつながりがまだ弱いと思うので、シェアハウス兼コミュニティスペースのようなものがあればと思います。そこに部室のようなものがあつてもいいと思います(笑)。枕崎は外国人の方も多く、中には光る人材もいたり後に繋がる関係作りができた、もつと仲良くなりたと思うので、そういったところでもつと繋がりができれば枕崎と世界の架け橋にもなるかもしれません。

これからの目標(ビジョン)はありますか?
枕崎ならではのお茶づくりをしていきたいです。南国の太陽のもとで、軽井沢から出る残渣を使った肥料を使いながら海と土と

太陽の良さを生かした、元気でおいしいお茶づくりができればと思います。作っているお茶の大半は一次加工をして市場に卸しているのですが、消費者のもとへ直接届けられるような商品作りも広げていきたいです。

今回、移住者でもあり青年海外協力隊という異色の経歴をもつ近森さんにインタビューをさせていただきましたが、移住者だからこそ、海外にいたからこそ感じる枕崎に対するさまざまな意見を聞くことができました。そして、地元の人々もそうでない人々(移住者)も枕崎に住む者同士、枕崎がもつともつと良い町になっていってほしいという想いは変わらないと改めて感じました。「X」も頭を傾けて見方を変えれば「+」に見えます。地域を前向きにとらえて一緒に頑張ります!近森さんありがとうございました。



▲(左から)幸田大史隊員、近森章さん、前永俊輔隊員

健康ちゃんねる

問合せ 健康センター
TEL72-7176

がん検診

知らずに、受けずにソシないために

■「がん」患者は増えている

現在、全国で「がん」による死亡者数は年間30万人を超え、死亡原因の第1位を占めるようになりました。日本人の2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなっています。

しかし、診断と治療の進歩により、一部のがんで早期発見、早期治療が可能となりました。がん検診は、がんの死亡率を減少させることができる確実な方法です。がん検診を正しく知り、正しい知識を持ってがん検診を受診しましょう。

■がん対策には予防プラス検診による早期発見が大切

がん検診の目的は、がんを早期発見し、適切な治療を行うこととでがんによる死亡を減少させることです。早期に治療を開始できれば9割方完治するといわれています。早期の治療は身体的にも、経済的にも負担が軽くなります。

■早期のがんはほとんど自覚症状がない

「どうもないから」とがん検



▲「試合」競技のようす

②なぎなた競技とは



違いは打突部位の違いで、「面」、「胴」、「小手」、「突き」に加え、なぎなたには「すね」があります。

【大会情報】
大会名 国体なぎなた鹿児島県予選
期日 6月10日(日) / 場所 市立総合体育館
問合せ 保健体育課国体推進係 TEL72-0170

燃ゆる感動 かがしま国体

第75回国民体育大会 熱い鼓動 風は南から 2020

なぎなた競技には、「試合」と「演技」の2つがあります。「試合」競技は、防具を身につけ、定められた部位を互いに打突して勝負を競います。また、「演技」競技は、防具を身につけず指定された形を対人で行ってその技を競います。「試合」競技において、剣道との大きな